

# 8 がっひかりごう

令和4年8月1日 輝保育園

セミの鳴き声、プールや水遊びをしている子ども達の声が真夏を感じさせます。プールや水遊びの後はぐっすり眠る子ども達。暑さや、水遊びのつかれもあり、体調管理が大切です。しっかり食べて、きちんと休息をとりましょう。ご家庭でも、冷たい物の、飲みすぎ、食べすぎに気をつけてください。

## 【【 箸 の 日 】】

正しい箸の持ち方から食文化の見直しまで含め、箸を考えようという提唱により、わりばし組合が1975年に制定しました。

8月4日、「8」は「は」、「4」は「し」と箸を語呂合わせしたものです。

お箸の持ち方、食事のマナーについて、この機会に振り返ってみましょう。

## ◇ お 盆 ◇

8月13日～15日はお盆(旧盆)です。

お盆は1年に1度、祖先の霊を迎えて供養する期間で、「盆踊り」は霊があの人に帰る日に盛大に送り出すための風習と言われています。

ご先祖様を敬う気持ちでお盆を迎えられるように、子ども達に話をするのも良いと思います。



## = 8月の行事予定 =

- 4日(木) 避難訓練
- 13日(土) } お盆
- 15日(月) }
- 26日(金) お誕生会・身体測定



## === ナース・レポート ===

### 【日焼け止めと虫よけ】

日焼け止めが大事だと理解していても、適切に使用できている方はほとんどいません。

日焼け止めは、小さい赤ちゃんから使うことができます。

日焼け止めの選び方としては、ベビー用や子供用として販売されているものを購入してください。

低刺激性と書いてあるものを選び、防御指数は、日常生活ではSPF15～20、PA++、海や山ではSPF20～40、PA+++～++++を目安にしましょう。

汗や水で落ちにくい、ウォータープルーフの製品であればなお効果的です。

あまりうすく伸ばしてつけると効果が低いので、顔に使用する場合はクリーム状であればパール粒×2、液状であれば1円硬貨大×2の量を参考にしてください。

使用後はきちんと洗い落としておくことも大切です。

普通の石けんやボディソープで落とせるものがほとんどです。

購入するときに、洗い方についての商品説明を確かめるようにしましょう。

また、虫刺されも気になる季節です。

虫よけは揮発して効果を発揮するため、最後に塗布しましょう。

日本小児皮膚科学会の記事より抜粋

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

生活習慣は育ちの基礎

家庭生活(尊敬・感謝)

尊敬や感謝の心は、大人が教えることで育まれます

子どもは、尊敬や感謝の心をもつことによって、人の教えを素直に受け入れ、自分を律し、規範意識を高めることができます。

しかし、これらは、子どもの成長に応じて自然に身につくものではありません。

日頃から自分を育ててくれる人、物事を教えてくれる人である年長者や先生を敬うことを親自身が態度で示し、教え、育てていくことによって初めて身につくものです。

1. 親自身が人を尊敬し、人に感謝する人になりましょう。

子どもは、親のすることを見て多くのことを学んでいます。

親自身は意識していなくても毎日の生活のなかで子どもに何気なく示しているものの考え方や行動が、実は子どもの育ちに大きな影響を与えているのです。

ですから、親が人を軽んじる態度をとったり、人に親切にしてもらっても、「これくらい当たり前！」というような態度をとれば、子どももそうならないとはかぎりません。

「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

# こ ども の よ う す

たんぽぽぐみ  
0才児



お昼が近づくと、給食の時間が始まります。手洗いが終わると心を躍らせ各々の椅子に座り食事用のエプロンを付けます。「いただきます」の挨拶をして食事が始まると机の上に並んだ食事に好きな物から手を伸ばしていきます。手摘みで食べる事もまだ多い時期で、この手掴み食べから色々な事を学んでいます。食材の触感を知り、食べ物への関心につなげ、自分の意思で食べようとし正しい位置へ手を伸ばします。手に取り口へ運ぶことで目と手と口が連動する動作を育てていきます。この経験をたくさん積むことで食べ物の性質を知り、自分に適した一口量を知り、食べる意欲へ繋がっていきます。手づかみ食べをたくさん経験する事は、スプーンやお箸といった食具を使う上で大切な経験となります。こぼす事も多いですが温かく見守ってあげてください。

たんぽぽぐみ  
1才児



7月から水遊びが始まりました。最初は、不安で泣いてしまった子もいましたが、保育者が一緒に遊んだり、カップやじょうろを手渡したりすると、少しずつ遊び始めます。顔にかかっても平気な子や、頭からジャブジャブと水を被る子も多いです。じょうろに水を汲んで、足や玩具にかけたり、カップからカップやペットボトルに水を移したり、それぞれ楽しみを見つけて遊んでいます。その子のペースで遊ぶことが出来るよう配慮しながら楽しんでます。タライに水をくみ準備を始めること、窓に顔をくっつけて見たり、洋服を脱ごうとしたりはやく遊びたくて仕方ない様子の子もたち。水遊び後も「そろそろお部屋に帰ろう」の声かけに、「イヤ～」と返事したり、逃げていたりまだまだ、遊びたいようです。8月もたくさん一緒に遊んでいきます。

すみれぐみ  
2才児



7月は水遊び、プールを楽しみました。頭から水をかぶりダイナミックに遊ぶ姿や、友だち同士で水をかけ合い楽しむなど、水の心地良さを感じているようです。また、水遊びの準備を通し着脱も頑張っています。「出来ない」「先生、こう？」という言葉に変わり、水遊びができる楽しさが、「自分でやってみよう」「頑張ってみよう」という気持ちを育てています。2才児で、一年間を通し取り組んでいる課題の一つが、着脱の確立です。水遊びの準備を通し、成功体験を積み重ね、自信と意欲につながっていきます。ご家庭でも、子ども達が自分で頑張っている姿を見守り、必要に応じて援助をお願いします。そして、出来たときはたくさん褒めてあげてください。大好きなお父さん、お母さんたちの応援が、一番の力になります。ご協力よろしくお願いします。

ちゅうりっぷぐみ  
3才児



気温が高く戸外遊びができない日が続いています。室内で過ごす日々でも自然への興味をもち「蝉が鳴いてる!」「あれ?お空が暗くなってきた!」「テラスが乾いたよ!」など、こども達は様々な事に気付き会話を弾ませています。そこで、「お外に夏を探しに行こうか?」と提案してみました。すると「やったー!」と、とびきりの笑顔で帽子と水筒を用意し「お茶飲んだよ」と熱中症予防の水分摂取も忘れず、あっという間に準備が整いました。園庭へ行くとすぐに蝉を見つけて負けないうらいの大きな声で「蝉さーん!」と呼んだり、風に揺れる向日葵を見つけ「葉っぱがバイバイしてるね」と手を振って挨拶したりと、照り付ける太陽の日差しを感じながら夏を楽しんでいます。汗をかいた後の水分摂取と水遊びは「おいしい!」「気持ちいい!」と最高だったようです。

ばらぐみ  
4才児



先月からプール活動が始まりました。ばら組の子どもたちは、水に顔を付けられることを目標に活動しています。顔全体を水につけたり、両手にすくった水に顔を付けてみたり、自分ができるやり方で目標に向かって挑戦しています。8月のプール活動もそれぞれのペースで目標に近づいていけるよう活動していきます。また先日、保育園で育てているトマトをみんなで食べました。6月に一度食べているので今回は二度目です。一度目に全く食べられなかった子ども、自ら口に入れてかじってみたり、匂いを嗅いでみたりしていました。自分たちで水やりをしたトマトの成長がうれしかったようです。愛情をもって水やりをしたトマトが実り、収穫できたという経験が、意欲や自信につながることを期待しています。

ひまわりぐみ  
5才児



ひまわりがとても大きく育ち大きな花を咲かせました。最近熱中症対策により、あまり戸外へ出られず観察もあまりできていませんでしたが、気付いた子どもが、興奮して知らせにきてくれました。自分より背の高いひまわりにとっても感動し、「ひまわり」の歌もさらに盛り上がるようになりました。そして、子ども達が楽しみにしていたプール活動が始まりました。子どもによって水の慣れは違い、水に全く抵抗がなくダイナミックに遊ぶ子、水に入るのは平気だけど顔に水がかかると抵抗のある子などさまざまです。水に体を浮かせたり、蹴伸びをしたり、ワニ歩きをしながら耳を水につけたりと色々な事に挑戦中です。自信のある子は手本となって意欲が高まり、苦手な子は頑張る友だちに刺激を受けながら、自分なりに目標をもって取り組んでいます。